

私たちは、 更なる高みへ

大阪学芸中等教育学校は、創立20年を越え、次なる30年、50年をめざし、これから未来へ歩いていく生徒たちに、より上質な教育を提供すべく、更なる高みへと日々邁進してまいります。

[学校方針]

生きる力の育成

+

進路希望の実現

+

基本的
生活習慣の確立

入学してから卒業までの6年間、伸ばするのは学力だけではありません。質の高い授業や多彩な行事、課外活動を通して人生の経験値を高め、豊かな「人間力」を育むのです。また、基本的な生活習慣をしっかりと身につけるとともに、男女共学の特色を活かした「互いを尊重し協力し合う」という健全な精神を育成。誰もが「この学校に入って良かった」と思えるような、実りある学校生活の実現を目指しています。

[学園の行動理念]

01

学校教育を通じて、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。

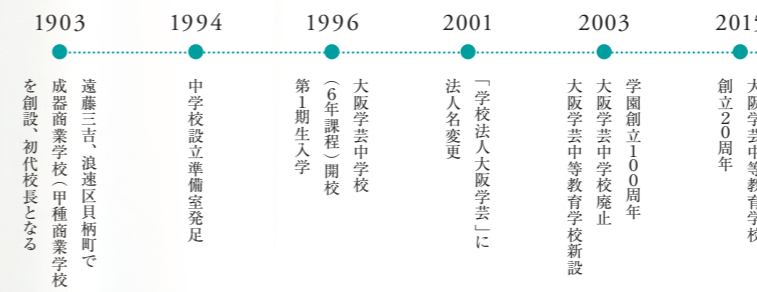
02

生徒が、何歳になっても誇りを持って語れる学園を創ります。

03

教職員が、生徒の満足を自らの喜びにできる学園を創ります。

[歴史・沿革]



[School Mark]



大阪学芸中等教育学校のスクールマークは、書籍を広げた形をモチーフにデザインしたものです。同時に、上に向かっては樹木が伸びやかに成長している様を、下に向かっては学園の象徴であるペン先を表現しています。

「知性」と「人間性」を兼ね備えた たくましい「人財」を育成します。

理事長 岡本 利雄

本学園は、創立者遠藤三吉（弁護士）が掲げた「卓絶なる技能と高尚なる徳義を有する紳士の養成」という「建学の精神」を継承しながら、「学園を通じて豊かな人間性をはぐくみ、社会に貢献できる青年を育成する」ことを理想としています。生徒をお預かりさせて頂く以上、「先生方が働くことに生き甲斐と、やりがいを感じ、生徒の成長と共に、自らも豊かな人間性が図れる教育環境」を築いていくことが学園の使命であると思っています。



6年一貫教育の特性を活かし

校長 柴田 俊次

本校は、大阪府唯一の中等教育学校です。中学校と高等学校をひとつくりにした学校で6年間が途切れることなく学び続けます。高校入試の負担がないというメリットを活かし、きめ細やかな指導体系を組んでいます。国立大学や有名私立大学など、難関大学への進学を目標におき、才能を伸ばししっかりと学力を身につけるよう、教育活動を行っています。また、大学入試改革に向け、「学芸ESD」や「RYS（論より証拠）」などの取り組みを通じ、思考力・判断力や表現力を養い、自ら進んで学習する態度を身につけさせます。学力以外に6年間の学校生活で築かれた豊かな人間性や社会性を兼ね備え、将来国際社会において活躍するたくましい人間に育てられることを期待しています。創立22年目を迎え、大阪学芸中等教育学校は更なる進化を求めて歩んでいきます。

